

## 第12回病診連携委員会要録

日 時 平成22年5月31日（月） 午後7時30分  
場 所 浪速区医師会 会議室  
出席者 浪速区医師会 : 8名  
愛染橋病院 : 2名  
大野記念病院 : 3名  
四天王寺病院 : 1名  
多根総合病院 : 2名  
富永病院 : 1名  
浪速生野病院 : 1名  
西区医師会 : 1名

### 議 題

#### 1. 第11回病診連携委員会報告について

前回委員会での議事内容の報告と確認が行われた。

#### 2. 病診連携委員会のアンケート結果について

アンケート結果は次のとおり

##### 質問1 今後のブルーカードのデジタル化とアナログのバランスについて

- A : できるだけデジタル化を進める 5件
- B : このままFAXを使用し、アナログとデジタルを共存させる 9件
- C : 病院も参加のデジタル推進部を作る 1件
- D : その他 0件

また、次のような意見があった。

- ・ 情報システム推進委員会を立ち上げてはどうか
- ・ 将来的にデジタル化に対応できない施設は減少するので、しばらくは医師会がアナログ施設のバックアップをすればよい
- ・ できるだけ多くの医療機関参加を考えるのなら、完全デジタル化より現方式が一番参加しやすい
- ・ データの汎用性が高くなるまでは、現状で観察し、時期を見てデジタル化してはどうか

ほぼ全ての施設が、現時点では今のシステムで良いと考えており、将来的にデジタル化の方向にすればよい（方向になる）と考えている。

当面は、現システムのままでブルーカードを運用し、時期が来たら改めてこの質問を提起することとした。

##### 質問2 現時点でのブルーカードの適用エリアの拡大可能範囲について

- A : 西区の一部 10件
- B : 天王寺区の一部 4件
- C : 西成区の一部 5件
- D : 中央区の一部 5件
- E : 阿倍野区の一部 2件
- F : その他 1件

「A：西区の一部」は、大野記念病院と富永病院が西区に位置するので10件と突出しているが、他のエリアは4～5件とほぼ同じである。

また、次のような意見があった。

- ・ 6病院に来られる患者の多く存在する地域を拡大範囲とする。特に第1選択病院周辺に絞ってはじめてはどうか
- ・ 周辺医師会の協力が得られれば、範囲を拡大してもよい
- ・ 病院中心ではなく、周辺区医師会との協議で範囲の拡大を考えていくべきである
- ・ 6病院の各区医師会との連携率から範囲の拡大を考えていくことが必要ではないか

まずは6病院を利用する患者の分布を調査して、解析することとした。

そこで、患者全体の分布と地域連携室利用紹介患者の分布（患者の住所ではなく、紹介医療機関の所在地）を各病院に調査し報告してもらうこととした。

ブルーカードの範囲拡大は、自然と周囲に浸透して広がっていくのがベストである。

しかし、かなりゆっくりとした動きになるので、今後は、近隣区医師会や周辺病院の意向を聞きながら、その地域へのブルーカードの拡大について協議することとした。

### 質問3 その他

次のような意見があった。

- ・ ブルーカードを契機に脳卒中連携、心筋梗塞連携などの病診連携も話し合っていく
- ・ ブルーカードの適応症例検討会を行う。

それぞれ今後の検討課題とする。

### 3. 所沢市医師会の在宅医療ネットワークの現状について

大野記念病院小城氏より、所沢市医療情報共用システムの紹介と所沢市医師会との懇談会（4月24日）の報告があった。

所沢市医師会はブルーカードの病診連携に非常に興味をもたれ、今後も両医師会の情報交換を続けたいとの意向があった。

また、次回は大阪で情報交換会を開催してはどうかとの提案もあった。

本委員会としては、所沢市との情報交換の継続には、前向きであるものの、浪速区のオープンシステムのブルーカードの方が、所沢市のクローズドシステムの在宅医療ネットワークシステムより、簡便で、ロスが少なく実用性が高いと考えており、次回の情報交換会までに症例を重ねて6病院と診療所がうまく連携していることを伝えることとした。開催日時としては、症例の蓄積期間と、気候のよさを考えて、9月頃の開催で調整することとした。

### 4. 西区医師会地域医療担当石村理事との意見交換

石村理事より次のような意見があった。

西区は特別な病診連携の委員会はなく、医師会の理事同士で討議を行ったり、個人的に近隣病院と連携を行っている程度である。地域医療対策事業としては、24時間対応のテレホンガイドを設置し、在宅関連施設の案内をおこなっており、必ず受け入れがあるように工夫している。また、毎月10日に「健康の集い」を開催している。在宅医療に関するアンケート調査などは、4年連続でおこなっているものの市民からの反響はあまりない。

ブルーカードについてはまだ不勉強なので、少し勉強してから、意見を述べさせてもらいたいし、西区医師会に報告させていただきたい。個人的には大野記念病院とブルーカードに似た連携をおこなっているので、西区医師会としても可能なシステムではないかと思われる。

西区医師会での協議内容をうかがって、この委員会で改めて報告することとなった

## 5. その他

### (1) ブルーカードの項目追加について

5月26日の時点でのブルーカード登録件数は61件に増加した。ブルーカードのデータ管理上、登録患者が在宅患者か外来患者かを把握したいので、新しいカードにどちらの患者であるかを記載する項目を追加したい。

協議の結果、了承。

### (2) ブルーカード登録患者について

- ① ブルーカードの登録をしている患者が死亡したり、転居したりして、内容に変更があった場合は、速やかに主治医から選択病院と医師会に報告して欲しい。
- ② ブルーカード開始後、ほぼ半年となっており、以前決定していたように、登録後半年を経過したブルーカードについては、医師会より内容確認の通知を行なう。

協議の結果、①、②ともに了承。

### (3) 愛染橋病院のイエローカードについて

愛染橋病院が行なっているイエローカードについては、ブルーカードが一般外来患者も適応となったので同じ扱いとして対応しているとのことである。

次回会議予定 平成22年6月28日（月）午後7時30分～